

一般社団法人日本循環器看護学会臨時書面理事会議事録

令和2年2月14日(金)開催

令和2年2月24日(月)決議

添付ファイル

令和元年度臨時書面理事会議事次第(令和2年2月14日開催)(本紙)

資料1 第26回日本心臓リハビリテーション学会学術集会におけるジョイントセッション開催依頼

資料2 第38回教育セミナー(仙台)チラシ(最終版)

資料3 第39回教育セミナー(大阪)チラシ(最終版)

資料4 2020 技術提案書リスト(二次評価結果一覧)

資料5 「慢性心不全看護認定看護師の活動支援」に関する現状報告

資料6 2019年度 全国慢性心不全看護認定看護師会 事業報告書

資料7 第17回日本循環器看護学会学術集会 準備状況報告

審議事項

1. 第26回日本心臓リハビリテーション学会学術集会におけるジョイントセッションについて

(仲村国内交流委員長)(資料1)

日本心臓リハビリテーション学会より、第26回日本心臓リハビリテーション学会学術集会におけるジョイントセッション開催の依頼がありました。執行部及び国内交流委員会で審議の上、承諾いたしました。つきましては、理事会の事後承認を頂きたいお願い申し上げます。

座長:日本心臓リハビリテーション学会 角口 亜希子 先生

日本循環器看護学会 仲村 直子 先生

→承認されました

報告事項

1. 学術委員会(三浦学術委員長)

- 1) 第38回教育セミナーの開催について(資料2)

2020年5月23日(土)、東北医科薬科大学福室キャンパスプラタナスホールにて開催します。

- 2) 第39回教育セミナーの開催について(資料3)

2020年6月13日(土)、CIVI北梅田研修センターにて開催します。

2. 政策・診療報酬委員会(山田政策・診療報酬委員長)(資料4)

2020年度診療報酬改定における医療技術評価につきまして、最終審査の結果、一次審査を通過した当学会からの提案3件はいずれも承認されませんでした。

3. 総務委員会(瀬戸総務委員長)(資料5、6)

慢性心不全看護認定看護師の活動支援状況につきまして、資料5、6の通りご報告いたします。

なお、今後の方針につきましては、日本循環器学会学術集会に合わせて対面委員会を開催し、検討いたします。

<理事よりご意見>

①慢性心不全看護認定看護師の活動状況と学会との関係性の整理、検討過程がよくわかりましたが、学会が支援するにあたり、学会に入会していない認定看護師が多いように感じますので、今後ご検討いただけたらと思いました。会員の会費が活用されることになるため。

②慢性心不全看護認定看護師会の活動についてですが「活動の可視化」とともに「自らの活動の成果」を是非可視化してほしい。政策提言していく上で非常に重要です。

<理事よりご質問>

①報告事項 2(資料 5)に関して「学会・CN 会との連記に関する現状把握」ですが、経過はわかるのですが、連携の何についての資料であるかわかりかねます。また、最下段にあります「総務委員長より謝罪」とは何なのでしょう。

(回答)

説明が不足しており申し訳ございません。前期理事会より総務委員会所掌として「慢性心不全看護認定看護師の活動支援」が位置づけられておりました。理事長より慢性心不全看護認定看護師会に対し、活動報告と事業計画を提出するようこの助言を受け、2010 年 2 月に会則や事業計画を事務局宛に送っていただいていたいました。

しかしながら、総務委員会メンバーと事務局担当者の変更が重なり、11 月まで返信等の対応をしておりませんでした。そこで対応が大幅に遅れたことを慢性心不全看護認定看護師会役員に総務委員長より謝罪し、あらためて、連携に向けた経緯の現状把握に務めた次第です。(瀬戸総務委員長)

②報告事項 2(資料 6)に関して法人格を持つ団体として、会務の事業計画にあるものでしたら、報告の義務はあると考えます。しかし、一団体からの事業計画や事業報告を受け取るといったやり取りは適切なのでしょうか。

(回答)

ご指摘ありがとうございます。学会の活動支援のあり方については、3 月の日本循環器学会学術集会に合わせ理事長・副理事長を含む拡大総務委員会を開催し、検討する予定でした(学術集会延期に伴い委員会も延期)。引き続きの検討課題と認識しております。(瀬戸総務委員長)

4 . 第 17 回学術集会運営事務局(宇都宮第 17 回大会長)(資料 7)
第 17 回学術集会の準備状況につきまして、資料 7 の通りご報告いたします。

以上